

0歳児クラス 9月 第3回「パンダ おかおたいそう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	- 保:「♪いち・に いち・に おかお体操はじめるよー」絵本提示。 - 講:「先生も一緒におかお体操したい!」「皆もやってみよう」等でお話に繋げる。	教材	 
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	①パンダの表情に合わせてまねっこを楽しむ。 ②リズムを付けて軽快に読み進める。	保育士の役割	
		・一緒に楽しむ ・会話をする	

がくしゅうタイム

活動①		ねらい	巧緻性	シールをつまみパンダに貼ることができる			
設定	みかんシールをパンダに食べさせてあげましょう						
つなぎ	・保：「やっほー皆でおかお体操しようよ」パンダカード提示。				教材		
	・提示用パンダカード 提示用みかんシール パンダカード みかんシール 皿（ゴミ箱用）						
活動内容	・講：「いーよいーよ皆で体操しよう！」パンダカードを受け取る。 「皆もやってみよう！」等で、パンダカードを渡す。 ・パンダカードで、体操やご挨拶を楽しむ。 ・講：「なんだかたくさん遊んだらお腹すいてきちゃった」 ・保：「美味しいみかんがありますよ」 ・講：「ありがとう」みかんシールを指先でつまんで取る。 ・講師は人差し指にみかんシールを貼っておき「お口の中にぴったんこ」と言いながら子ども達の目の前まで行き1人1人にみかんシールを見せる。 この時、子ども達が手を伸ばしてきたら、「おいしそうだね・つるつるだよ・オレンジ色のみかん・食べたいね・欲しいね」等、声をかけながら手を伸ばしたことを褒める。 ・講：「みんなの分もありますよ」で、みかんシールもらいパンダカードのお口（好きなどころ）に「べったんこ♪」と貼る。 ・シールのゴミはゴミ用皿に捨てるように促す。 ・みかんシールが貼れた子は、食べる真似っこをしたり、パンダカードを動かしたりする。				保育士の役割		・パンダカード登場 ・パンダカード配布 ・ミカンシール配布 ・子どものフォロー ・言葉がけをする

活動②		ねらい	表現	まねっこを楽しむことが出来る		
設定	パンダと一緒におかおたいそうをしてみましょう					
つなぎ	・講：「さあ！みんなでパンダたいそうはじめるよ♪」				教材	
	・パンダカード					
活動内容	・講：「1・2・1・2」リズムに合わせパンダカードを動かす。 ・保：（子どもの様子でエレピが弾けるようであれば弾いて盛り上げる） ・スタート・ストップ・ジャンプ・おかお体操等、子ども達と一緒に楽しむ。 ・たくさん遊んだら称賛する。 ・講：「眠くなってきたみたい」「ベッドで寝かせてあげよう」等でカゴ等を集めても良い。				保育士の役割	・パンダと一緒に遊ぶ ・エレピを弾く ・言葉がけをする ・称賛する ・パンダカードを集める

言葉カード	内容	教材
活動内容	野菜（にんじん・トマト・さつまいも・なす・だいこん・ピーマン） ・講：「いらっしゃい！いらっしゃい！八百屋さんですよ」「お店の準備をしなくちゃ！野菜を並べるよ」等で、CDをスタートさせ歌に合わせて野菜カードを見せる。名称や特徴も伝える。 ♪野菜、野菜、最初の野菜は何でしょう、ランランランランラララ〇〇〇♪ ♪野菜、野菜、次の野菜は何でしょう、ランランランランラララ〇〇〇♪ ♪野菜、野菜、最後の野菜は何でしょう、ランランランランラララ〇〇〇♪ ・子どもの集中度によってカードの枚数は調整する。 ・最後まで見ることが出来るようなら6枚のカードを使用する。 ・間奏の間、色や形など野菜の特徴のことばを話したり、食べるまねをしながら進行する。	野菜カード（6種） 言葉カード台紙 カゴカード 言葉カードCD ★CDデッキ
		保育士の役割 ・一緒に歌う ・「おいしそう」「〇〇色だね」「昨日食べたね」等言葉を話す ・台紙にカードを貼る

手遊び	内容	教材
活動内容	『まつぼっくり』 ・保育士が楽しく歌って手遊びを見せる。子どもに手を添えられるようなら簡単な動作は子ども達と一緒にやる。 （動作は別紙&Dropbox動画を参照）	手遊びCD ★CDデッキ Dropbox 動画&別紙
		保育士の役割 ・子どもの手を取り一緒にやる

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達と一緒にパンダの表情を模倣出来たか
活動①巧緻性	パンダの口を意識してシールを貼る提示を行ったか
活動②表現	大げさに表現することが出来たか
言葉カード(野菜)	名称だけではなく、色や季節、どこに出来るのか意識して説明したか
手遊び(まつぼっくり)	クラス全体で楽しむことが出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・表現 ***

まねっこしてみよう！

- ①鏡などに映った自分の顔を見て楽しむ。
 ②大人の表情をまねっこをして楽しみましょう。

大人が表情豊かに関わることで、お子様はその表情やしぐさをまねしながら、やりとりの楽しさや安心感を感じられます。



顔の表情に合わせてことばをかけてあげましょう♪

楽習タイムの動画はこちら

